

【アクレックス】環境対応型  
**Aquorex** 水系

屋内木部用

Washin  
WASHIN CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.

AQRX No.3520 水性2液ウレタン塗料

Power UP

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

登録番号 W01287

# 2液フロア

非トルエン  
非キシレン 塗料

鉛

ラバーマークがつきにくい!

白ラインもくっきり!

作業性UP!

## F☆☆☆☆ 適合、トルエン・キシレン含まず無鉛・低臭!

### 国土交通省「改正建築基準法」に適合したF☆☆☆☆

シックハウス症候群の原因物質の1つとされるホルムアルデヒドの放散量に応じて、使用不可～制限なしまで4段階の等級に厳しく分類・使用制限されます。

アクレックス No.3520 2液フロアは『F☆☆☆☆』を取得しているため、屋内居室に於いて安心して制限なくご使用いただけます。

### 厚生労働省「屋内空気汚染に係わるガイドライン」に適合

屋内空気汚染に係わるガイドラインで指定された、13種類の有害化学物質を含有しません。また、鉛を含まないので東京都環境局の策定する子どもガイドラインにも適合しています。

### 文部科学省「学校環境衛生の基準」に適合

文部科学省の学校環境衛生の基準で指定された、トルエン・キシレン等の4種類の有害化学物質を含まないので、保育園・学校等の子供が多く利用する施設や、人が長時間いる住宅の屋内居室に於いても安全安心です。



NET. 主剤15kg・硬化剤1.5kg

# 体育館など激しい運動をするフロアでも 優れた性能と耐久性で高光沢が持続します！

**Aquorex** [アクレックス]  
環境対応型 水系  
屋内木部用

## 特長

### ① 環境対応型的水系塗料

臭気が少なく、作業中も安心・安全・快適。厚生労働省指定の毒物・劇物・消防法の危険物に該当しません(キシレン、トルエン、エチルベンゼン、ホルムアルデヒドを未使用)。

※硬化剤は危険物第4類となります

### ② 塗膜性能が良好

2液タイプとすることで、優れた耐溶剤性や耐ラバーマーク性を実現。強靱な塗膜性能を誇り、耐久性と高光沢が長期間持続します。

### ③ ラインの色がいきる無黄変性

黄変しないので体育館の白ライン上に塗っても、白色が黄味を帯びることがありません。美観が続くのでメンテナンスも容易です。

### ④ 混合性UP

通常の水性2液塗料の混合にはハンドミキサー等による機械攪拌が必要ですが、「アクレックス No.3520 2液フロア」は、主剤の缶に専用硬化剤を入れて良く振るだけ。専用硬化剤が分散性に優れているので均一に混ぜ合わせることができます。

※缶を振ることができない場合にはハンドミキサー等による攪拌をお勧めします

## 塗料性状

外観	主剤:乳白色液体 専用硬化剤:無色透明液体	混合比 主剤:専用硬化剤=10:1(重量比)
粘度	16秒±2秒/25℃	混合後 No.4 フォードカップ
密度	1.06±0.02/25℃	混合後 ウェイトカップ
不揮発分	40%	混合後

## 乾燥性目安

塗布量 80~90g/m<sup>2</sup>

乾燥時間 指触 30分、指圧 4時間(気温/湿度、20℃/50%)

※条件によって乾燥時間は異なりますので参考として下さい。

## 使用方法

- 使用前に主剤をよく攪拌して下さい。
- 主剤の入っている缶に専用硬化剤を添加し(主剤:専用硬化剤10:1)、栓をして激しく振り均一に混ぜ合わせます。その際カップ等の別な小さな容器に取ってよく混ぜたことを確認して下さい。その後、15分間以上放置して泡を抜いて下さい。※缶を振ることが出来ない場合にはハンドミキサー等による攪拌をお勧めします。
- 混合後の塗料の使用可能時間は約3時間です。(高温になる夏場は1時間程度短くなります。)
- 可使時間を過ぎると性能が出なくなりますので厳守して下さい。(ゲル化しなくても可使時間を過ぎている場合がありますので注意して下さい。)
- 基本的には原液でお使い下さい。乾燥が早く塗りやすい場合などは水で希釈して下さい。(混合した塗料に対して5%程度)

※使用の前には「塗装アドバイス」と「使用上の注意」を必ずお読み下さい。

## 塗装アドバイス

- 塗装用具には、ナイロンハケまたは短毛のモップ等をお使い下さい。広範囲木質フロアの塗装には、アクレックス-T.Barをお勧めします。羊毛モップでの塗装は発泡に気を付けて下さい。
- きれいな仕上がりにには素地調整と研磨工程が必要です。
- 木材は種類によって発色が変わります。また同じ種類でも、吸い込み方で発色が変わりますので、必ず試し塗りをして下さい。
- 補修塗装の場合は旧塗膜との密着を確認してからご使用下さい。

## 用途

文教施設・店舗・一般住宅など  
広範囲木質フロアの塗装。

### ラバーマーク

靴と床がこすれた時の摩擦熱で溶けた靴底のゴムが塗膜に付着してできた汚れ。



## 塗装工程例(体育館新規フロア塗装) ※試し塗りして下さい。

工程	使用塗料	塗布量	乾燥時間
素地調整	#80~#100メッシュ		
下塗	アクレックスNo.3520 2液フロア 主剤:専用硬化剤 = 100:10 水道水 0~5	80~90g/m <sup>2</sup>	4時間以上
研磨	#120~#180メッシュ ポリッシャー		
中塗	アクレックスNo.3520 2液フロア 主剤:専用硬化剤 = 100:10 水道水 0~5	80~90g/m <sup>2</sup>	4時間以上
研磨	#120~#180メッシュ ポリッシャー		
上塗	アクレックスNo.3520 2液フロア 主剤:専用硬化剤 = 100:10 水道水 0~5	80~90g/m <sup>2</sup>	一夜放置

塗装翌日の歩行は可能ですが、競技使用には10日~2週間程度の養生が必要です。

※条件によって塗布量、乾燥時間は変わりますので、目安としてください。

※より耐久性を要求される場合は「アクレックスNo.3520 2液フロア」を1回増やす(計4回塗装)事をお勧めします。

※木床がナラ材の場合、アク汚染が発生する場合がありますので、下塗りには「アクレックスNo.3600アク止めシーラー」のご使用をお勧めします。

## 使用上の注意

- ① 5℃以下での塗装や、多湿の際の塗装は硬化時間が極端に遅れるだけでなく、仕上がりが問題となったり、塗膜性能が出なくなる場合がありますので避けて下さい。(特に低温での塗装では耐ラバーマーク性が出にくくなります。)
- ② 本品は水系塗料でありますので低温時には凍結しますが、解凍すれば問題ありません。しかし、できるだけ凍結させないように注意が必要です。
- ③ 刷毛などの塗装器具の洗浄は、乾かぬうちに水でよく洗って下さい。乾いてしまうと水では落ちませんので、ご注意ください。
- ④ 取り扱い中は塗料ができるだけ皮膚に触れないようにし、保護手袋・保護メガネ等を着用して下さい。
- ⑤ 塗料が皮膚についた時は、セッケン水で洗って下さい。
- ⑥ 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。誤って飲み込んだ場合も、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ⑦ 取り扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ⑧ 容器からこぼれた場合には、砂などを散布した後処理して下さい。
- ⑨ 密栓し、子供の手の届かない一定の場所を定めて保管して下さい。
- ⑩ 残塗料・廃液は下水・河川などに捨てず、中身を使いきってから廃棄して下さい。また、空容器は他の用途に使用しないで下さい。
- ⑪ 専用硬化剤は空気中の湿気と反応し増粘します。使用分だけを取り出し直ちに密栓して下さい。
- ⑫ 専用硬化剤は「第4類 第2石油類」の危険物となりますので消防法に従って取り扱いください。※さらに詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(SDS)をご参照下さい。

本カタログに記載している、製品の塗布量・乾燥時間は目安です。/木材塗装は素材の状態や気温・湿度により、塗布量・乾燥時間・吸い込み・艶・発色などが変わります。本塗装を行う前に、必ず試し塗りをして下さい。/本カタログに記載している商品の詳細なデータは、弊社お客様相談室もしくは最寄りの事業所までご連絡のうえ、お求めくださるようお願い致します。/本カタログに記載している内容は、2014.10月時点のデータに基づいています。また、製品の仕様につきましては予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

和信 WASHIN 水系塗料で暮らしの安全に貢献する  
和信化学工業株式会社

木工塗料事業部 〒529-1608  
滋賀県蒲生郡日野町大字大谷341-7  
日野工場 TEL 0748-53-1936 FAX 0748-53-1941

ホームページ <http://www.washin-chemical.co.jp/> お問い合わせ [info@washin-chemical.co.jp](mailto:info@washin-chemical.co.jp)

●お客様センター Tel:0748-53-1966  
【ご利用時間】9:00~17:00(祝祭日を除く月~金曜日)

北海道事業所 / 011-372-3010 東日本事業所 第3課:長野 / 0265-82-5622  
東日本事業所 第1課:茨城 / 0294-70-3211 西日本事業所 / 0748-53-1929  
東日本事業所 第2課:静岡 / 054-365-3157 九州事業所 / 0942-89-5580